



令和7年度 東京都立城東特別支援学校 学校経営計画達成状況（最終報告）

I 今年度の経営における重点テーマ ～中期計画と現在位置～

開校10年間の「学校教育基礎期」を経て、来たる10周年式典に向けた令和7年度から9年度の3年間で「学校教育基盤充実期」と位置づけ、地域コミュニティの基盤形成を核に目標を設定し、その第1年度とした。

「教え方・学び方・働き方の変換」～学校の魅力化～

学習者主体の学び、多様な他者と協働した学びを展開するとともに、教員自身の学び方・働き方も転換し、学校全体のウエルビーイングを教育を通じて向上させていく。

アウトソーシングを積極的に活用する等、令和8年度、勤務時間外在校等時間の45時間超を「0」にするための組織改革・意識改革を行う。

【「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム(令和6年3月策定)】

「業務の平準化」「アウトソーシングの活用」等、定時外労働時間の解消につながる教育環境整備と、学習の本丸:次期学習指導要領の改訂の方向性でもある「学びをデザインする高度専門職としての教師の質向上」の「両輪」を学校経営の中心に据え、学校経営を行った。

令和8年度早々から、実践・あらゆる方策を用いた検証を行えるよう、令和7年度内に、「城東の目指す学力=生きる力」を付けるための総合計画を示した。

教員の力量に影響を受けることのない教育水準の確保が、学校教育基盤充実期の使命である。

II 今年度の具体的方策と取組目標に関する達成状況

【評価基準】学校評価等の結果を踏まえて各項目を以下の基準で評価した。

A：目標値等の95%以上 B：目標値等の85%～94% C：目標値等の70%～84%

D：未実施、目標値等の70%未満、未達成

1 学校運営・組織体制

NO	具体的な方策・取組目標(成果指標)		達成状況
1	方策	主幹教諭と主任教諭のライン管理による業務の平準化、主任教諭の役割の明確化等 学校運営に主体的に参加するシステムの構築	A
	目標	①実行プラン・職務ミッション一覧表の進行管理:前・後期/年、学校経営を担うミドル リーダーの育成、②学運協3回/年、③教員・組織等アンケート肯定的評価75%以上	
	結果	①②前/後期実施、中間/最終結果→3回の学運協へ提示。③教員:93%	
2	方策	校務のDX化の一層の推進	A
	目標	全教職員の年間での平均勤務時間外在校等時間30時間以下/月	
	結果	平均勤務時間外在校等時間21時間	
3	方策	教職員の心身の健康の保持・促進	A
	目標	健康診断受診率100%及び要医療者の確実な医療機関の受診	
	結果	健康診断受診率99%	
4	方策	全教職員の服務規範意識の向上	A
	目標	服務事故防止・人権研修3回以上/年実施、服務事故0件	
	結果	両研修とも3回以上実施、服務事故0件	

5	方策	クリーンデスク・環境整備日の設定と適切な個人情報管理の徹底	A
	目標	クリーンデスク・環境整備日 1回/月、個人情報紛失等の事故0件	
	結果	クリーンデスクチェック/環境整備日 共に1回/月実施、個人情報紛失事故0件	
6	方策	適切な予算編成及び計画的な予算執行の徹底、センター契約による効率的な執行	A
	目標	在庫状況の数値管理【9月末日】、一般需用費のセンター執行率75%、	
	結果	一般需用費のセンター契約率81%	

2 学習指導(自立活動を含む)

NO	具体的な方策・取組目標(成果指標)		達成状況
1	方策	学習指導要領に準拠した内容構成・授業実践・学習評価の検証による学力向上	B
	目標	保護者・本人アンケート肯定的評価90%以上	
	結果	保護者：97% 本人：69% ※「分からない」の回答への追い分析が必要。	
2	方策	地域学習の充実と各教科等のカリキュラムマネジメントによる教育課程の検証・再編	A
	目標	標準時数の確保と教育効果を鑑みた編成・提示【9月予備相談】	
	結果	各会議体を用い教育課程を再編。計画通り9月予備相談・1月指定相談経て受理。	
3	方策	DX等の活用及び実態に応じた意志表出・意思選択・意思決定へつながる学習の充実	C
	目標	教員・本人アンケート肯定的評価90%以上	
	結果	教員：87% 本人：58% ※「分からない」の回答→中：12% 小：25%	

3 進路指導

NO	具体的な方策・取組目標(成果指標)		達成状況
1	方策	キャリアパスポートの作成と効果的な活用を通じた自己肯定感の向上	B
	目標	教員・本人・保護者アンケート肯定的評価85%以上	
	結果	教員：92% 本人：82% 保護者：97%	
2	方策	挨拶の励行と人権に配慮した呼称、言葉遣いの徹底及び教職員研修の実施	A
	目標	教員・外部・保護者・本人アンケート肯定的評価90%以上	
	結果	教員：100% 外部：79% 保護者：97% 本人：76%	

4 生活指導

NO	具体的な方策・取組目標(成果指標)		達成状況
1	方策	「いじめ・体罰・SOS発信」対策会議、計画的なアンケート及び教員研修の実施による早期発見・早期対応の徹底、各種アンケートの精選、学校サポートチームと有機的連動	A
	目標	①教員研修3回以上/年、②対策会議1回/週、③学校運営連絡協議会：協議3回/年	
	結果	①年3回実施 ②週1回実施 ③年間協議テーマを「人権」とし、年3回実施	
2	方策	「SOSの出し方に関する指導」の実施及び教員のSOS発信の感度の向上	D
	目標	3回/年実施、生命にかかわる重大事故0件 本人・教員アンケート肯定的評価90%以上	
	結果	本人：69% 教員：99% であるが、救急搬送を要する重大事故1件	
3	方策	防災教育推進会議と連動した避難訓練等の計画的な実施及び危機対応能力の向上	A
	目標	合同避難訓練11回以上/年、保護者・教員・本人アンケート肯定的評価90%以上	
	結果	11回/年実施 保護者：99% 教員：98% 本人：71%	
4	方策	災害時対応能力の向上を含めた保護者と連携した一人通学の推進	B
	目標	個別面談3回/年、各種保護者会5回/年、マニュアルの見直し【年度末】	
	結果	一人通学マニュアルに「防災・防犯・緊急」時の対応を付記。個別面談で共有。	

5 安全・安心、健康づくり

NO	具体的な方策・取組目標(成果指標)		達成状況
1	方策	学習及び生活指導場面における事故防止のための教員研修等の実施	D
	目標	保護者・教員アンケート肯定的評価 95%以上 研修会・シミュレーション10回以上/年実施 人為的なミスによる事故0件	
	結果	保護者：97% 教員：97% 研修/シミュレーション11回 A評価にも関わらず判断ミスによる事故1件 【4 生活指導—NO2の事故と同じ】	
2	方策	安全点検日を活用した施設・設備等に関する安全管理の徹底	A
	目標	施設・設備の瑕疵等による学校事故0件	
	結果	学校事故0件	
3	方策	家庭等と連携し基本的な生活習慣の確立及び健康の三原則(栄養・運動・休養)に関する情報を提供することなどによる児童・生徒の体力向上等を促進	B
	目標	本人・教員アンケート肯定的評価95%以上	
	結果	本人：85% 教員：98%	

6 広報、地域交流、地域支援等

NO	具体的な方策・取組目標(成果指標)		達成状況
1	方策	ホームページ、X(旧 Twitter)等を活用した情報発信	C
	目標	HP・X 更新 100 回以上	
	結果	HP 76 回・X 5 回 計：81 回	
2	方策	豊かに生きていく力の素地(学びの基点)である読書活動の推進	A
	目標	年間貸出件数 3500 冊以上、保護者・教員・本人アンケートの肯定的評価 80%以上	
	結果	貸出件数 3880 冊。 教員：89% 保護者：77% 本人：78%	
3	方策	美化活動等、計画的な社会貢献活動の計画的な実施による自己有用感の醸成	A
	目標	保護者・教員・本人アンケート:肯定的評価 90%以上	
	結果	教員 88% 保護者・本人：設問未設定	
4	方策	副籍制度による交流及び共同学習等の充実	B C
	目標	①副籍希望者全員実施 100%、②保護者・地域アンケートの肯定的評価 90%以上	
	結果	①副籍希望者全員実施 86.4% ②保護者 76% 地域アンケート回収：7 件	

Ⅲ 令和 8 年度の学校経営の重点及び方針

令和7年度の学校評価等の結果を踏まえ、引き続き、以下の重点事項を促進・充実させることにより、城東特別学校の魅力化・特色化を図る。

- (1)教育課程の検証・評価に基づく、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践により、「児童・生徒の学力の向上」を第一義とする。
- (2)そのためにも、一層、業務の効率化・平準化・校務のDX化を促進し、創出された時間を「教員の教え方・学び方」の変換に集中し、教育の質の向上に再投資することで、城東の学力及び組織力を高める。
- (3)さらに、来たる「創立 10 周年にかかる行事～アニバーサリーイヤー～」を絶好の地域学習の機会と捉え、地域に貢献し、地域に信頼され、強固な協力関係を築き、積極的に都民に情報発信する。

これらの取組を展開するにあたり、「4 者【教員・子ども・保護者・地域】の調和」を促進させることで、「目指す学校の実現」を図る。